

オンライン

住宅医 スクール

The projects of Architectural Pathologists 2021-02

住宅医の仕事 2021-02

量から質へ。既存住宅に関する知識や技術が求められる時代です。
既存住宅の調査・診断から改修設計・施工・維持管理等ができる「住宅医」を育成するため、
今年も住宅医スクール2021(第12期)を開催しています。

「住宅医の仕事」は、全国で活躍している住宅医の仕事を発表し合う場です。
2021年第2回は、愛知県、香川県、神奈川県の3名の住宅医による仕事をご紹介します。

12/10 (金) 17:00~19:00

住宅医の仕事 2021-02
オンライン開催 (ZOOM利用)



中野弘嗣
水の葉設計社
【香川県】

『記憶を繋ぐ改修

～千里ニュータウン・築52年の住宅』

住宅医として調査から設計監理まで携わった仕事をご紹介します。
千里ニュータウンの開発初期に建てられた約85坪の住宅を、家族3人が暮らす家に減築・改修を行った事例です。既存建物からの床面積が大きく減少する中で、愛着のあるものをどのように残していくかが改修テーマのひとつになりました。



神谷義彦
神谷建築スタジオ
【愛知県】

『中古住宅の性能向上フルリノベーション ～大浜の家+碧海の家(減築Ver.)』

リノベーションを「楽しそう」と考えられていた住まい手が勢いで(笑)依頼をしてくださった事例と、減築により建築面積を半分以上まで減らした事例です。空き家の大半は解体され無秩序な敷地分割によって町の風景が改悪されていく中で、住み継ぐためにリノベーションを選択した2事例を紹介させていただきます。



藤田敦子
Bois設計室
【神奈川県】

『住宅医のスキルを求められた改修の仕事 ～非木造住宅改修と木造の部分改修事例』

家づくりに対する考え方や扱う素材について共感頂くことで依頼につながる仕事は大半ではありますが、住宅医であることを理由に改修の相談を受けることもあります。
その中で、顕著なシロアリ被害がきっかけで改修に至った非木造の事例と、長期優良リフォーム補助金を利用した部分改修事例をご紹介します。

対象者 どなたでもご参加いただけます (※ZOOMを用いたオンライン形式でご参加頂きます)

定員 100名程度

参加費 無料

参加申込 一般社団法人住宅医協会ホームページ <申込フォーム> よりお申込みください。

申込締切 2021年12月8日(水)

主催 一般社団法人住宅医協会



【申込URL】<https://sapi.or.jp/skillup20211210/>